

警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因について

以下の原因が考えられますので、調べてください。

- 長い間閉め切られたお部屋や、高気密住宅などの換気回数が少ないお部屋に設置されている場合、ガスセンサの感度に影響をおよぼす室内の滞留成分（シリコンや溶剤に含まれる揮発性成分、フロンガス（エアコンの冷媒ガスなど））の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。
- 建材などから発生する揮発性成分の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。

- スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器にかけていませんか。
- タバコの煙を警報器に吹きかけていませんか。
- 芳香剤・香油（アロマオイル）などの濃いガスが警報器にかかっていませんか。
- 線香の煙が警報器にかかっていませんか。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用していませんか。
- アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が高濃度になっていませんか。
- フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用していませんか。
- 焼き魚の煙などが警報器にかかっていませんか。
- みりんや酢などの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器に大量にかかっていませんか。
- 可燃性のガスなどを使用していませんか。
- 換気が十分でない状態で、湯沸器を使用していませんか。
- ガスコンロの着火ミスがありませんか。
- 自動車の排気ガスが室内にこもっていませんか。
- 炭火や練炭を使用していませんか。
- 換気扇を回さずに大鍋（業務用）で湯を沸かしていませんか。点火初期にCOが発生し、CO警報を発することがあります。
- 警報器を設置した状態で、十分な換気をせずに内装工事（リフォーム含む）を行っていませんか。揮発成分がセンサに影響を与え、誤報を誘発します。また、内装工事（リフォーム含む）を終えた段階でも、十分な換気が行われなかった場合、同様に事象が発生します。

おねがい

ガスもれやCO発生ではなく、空気の汚れなどにより、ガス警報ランプ（赤）・CO警報ランプ（黄）が点滅したり、警報音が鳴る場合がありますが、すぐに鳴りやみしますのでドアや窓を開け、しばらく換気を行ってください。その際、警報器の電池コネクタを抜かないでください。

ランプ表示・音声出力の事象一覧表

電源表示 お知らせ (緑)	CO警報 (黄)	ガス警報 (赤)	音声内容	事象	対応方法
点	点	点	なし	通常動作 (監視中)	－
点	点	点	なし	ガス注意報	P4参照
点	点	点	ガス警報音声「ワーワー ビッポビッピッ」 ガスがもれていませんか	ガス警報	P4・5参照
点	点	点	なし	CO注意報	P4参照
点	点	点	CO警報音声「ワーワー ビッポビッピッ」 「ワーワー ビッポビッピッ」 ボツ 空気が汚れて危険です。窓を開けて換気してください	CO警報	P4・5参照
点	点	点	なし	ガス注意報とCO注意報	P4参照
点	点	点	ガス警報音声「ワーワー ビッポビッピッ」 ガスがもれていませんか	ガス警報とCO注意報	P4・5参照
点	点	点	CO警報音声「ワーワー ビッポビッピッ」 「ワーワー ビッポビッピッ」 ボツ 空気が汚れて危険です。窓を開けて換気してください	CO警報とガス注意報	P4・5参照
点	点	点	ガス警報音声「ワーワー ビッポビッピッ」 ガスがもれていませんか、CO警報音声「ワーワー ビッポビッピッ」 ボツ 空気が汚れて危険です。窓を開けて換気してくださいの交互音声	ガス警報とCO警報	P4・5参照
点	点	点	故障警報音声「故障です」 (約10秒ごと)「ビッポビッ」(約1分ごと)	故障警報 (警報器が故障診断機能により故障と判断した状態)	販売店に連絡してください。
点	点	点	なし	有効期限切れ (警報器の有効期限が半年以上過ぎた状態)	販売店に連絡してください。
消灯	点	点	電池切れ警告音声「電池切れです」 「ピッ」(約1分ごと)	電池切れ	販売店に連絡してください。

◎：点滅(1秒ごとに1回) △：ゆっくり点滅(5秒ごとに1回) ○：消灯

※故障したときは、上記以外の表示音声を発する場合があります。この場合、販売店にご連絡ください。

お手入れのしかた

- 警報器を取り外す。(P.7参照)
- 警報器および取付部付近の壁面の汚れをふき取る。
布に水または石けん水を浸し、よく絞ってからふき取ってください。

おねがい

- お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。

- お手入れするときは、中性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。
アルカリ性洗剤などを使うと、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらくガス警報ランプ（赤）が点滅したり、警報音が鳴りやまないことがあります。

- 警報器を取り付ける。(P.7参照)
- 本体を取り付けてから、正常に動作することを確認する。(P.8参照)

警報器の取り外し・取り付けかた

■木ねじの場合

《取り外しかた》

木ねじをゆるめて

警報器を取り外す。

※強く引っ張ると取り付けている木ねじが抜けたり、木ねじから警報器が外れたりして、落下する恐れがありますのでご注意ください。

- スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器にかけていませんか。
- タバコの煙を警報器に吹きかけていませんか。
- 芳香剤・香油（アロマオイル）などの濃いガスが警報器にかかっていませんか。
- 線香の煙が警報器にかかっていませんか。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用していませんか。
- アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が高濃度になっていませんか。
- フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用していませんか。
- 焼き魚の煙などが警報器にかかっていませんか。
- みりんや酢などの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器に大量にかかっていませんか。
- 可燃性のガスなどを使用していませんか。
- 換気が十分でない状態で、湯沸器を使用していませんか。
- ガスコンロの着火ミスがありませんか。
- 自動車の排気ガスが室内にこもっていませんか。
- 炭火や練炭を使用していませんか。
- 換気扇を回さずに大鍋（業務用）で湯を沸かしていませんか。点火初期にCOが発生し、CO警報を発することがあります。
- 警報器を設置した状態で、十分な換気をせずに内装工事（リフォーム含む）を行っていませんか。揮発成分がセンサに影響を与え、誤報を誘発します。また、内装工事（リフォーム含む）を終えた段階でも、十分な換気が行われなかった場合、同様に事象が発生します。

《取り付けかた》

1 警報器を木ねじに引っ掛ける。

2 木ねじを締め付けて固定する。

※警報器が確実に固定されていることを確認してください。

■取付フックの場合

《取り外しかた》

本体を持ち上げて取り外す。

《取り付けかた》

警報器を取付フックに引っ掛ける。

※警報器が確実に固定されていることを確認してください。

殺虫剤(くん煙・くん蒸・噴射式)を使用するときは

殺虫剤の噴射ガスに反応して警報器が鳴る場合があります。次の処置を行っていただく、と、警報器が鳴り出すのを防ぐ効果があります。

△警告

殺虫剤を使用した後は、必ず部屋の換気をし、ポリ袋を外してください。警報器が作動しません。

△注意

警報器の壁面からの取り外し・取り付けは、高いところでの作業になりますので、しっかりと踏み台を使って、十分に注意して行ってください。
転落、転倒、落下の原因になります。

1.警報器をポリ袋の中に入れる

警報器を取り付けている部屋で殺虫剤を使用するときは、警報器が噴射ガスに反応して警報音が鳴る恐れがありますので、必ず警報器に次の処置をしてください。

《準備するもの》

- ポリ袋(30cm×40cm・1枚)
ポリプロピレン製(♂または>PP<表示)
※ポリエチレン製でも一定の効果があります。
- ひも(1本)

《処置のしかた》

1 警報器を取り外してください。
(上記参照)

2 警報器をポリ袋の中に入れ、袋の口をひもで縛ってください。

3 ポリ袋を傷めないように、警報器を安定するところに置いてください。

2.殺虫剤を噴霧する

- 以下のようなときは、ポリ袋で覆っていても警報音が鳴ることがあります。殺虫剤を使用するときは、事前に住宅管理者やご近所の方に、連絡しておいてください。
- 部屋の広さに比べて、極端に大きな容量の殺虫剤を使用するとき。
必ず、部屋の広さに応じた容量の殺虫剤をご使用ください。
 - 殺虫剤を警報器の真下で使用したとき。
警報器の真下は避けてください。
 - ポリ袋に破れや穴があるとき。
 - 警報器をポリ袋で覆う前に、石油系溶剤やアルコール類などを使用していたとき。
ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められます。
 - 経年変化によって、ガス検知部が敏感になっているとき。

3.ポリ袋を取り外す

- 殺虫剤の使用が終わったら、ポリ袋から取り出し、警報器を元の位置に取り付けてください。

定期点検

日常、警報器の電源表示「**点**」が点灯していることと、お知らせランプ(緑)が消灯していることを確認してください。
※電源表示が消灯であったり、お知らせランプ(緑)が点滅している場合は、販売店に連絡してください。(P.8「故障かな?と思ったら」を参照ください)

定期点検
警報器が正常に動作することを確認するために、1ヶ月に1回程度、定期点検を行ってください。(1週間以上留守にされた場合も点検を行ってください。留守中の電池切れ警報を、確認できない恐れがあります。)

- 警報器が警報動作中や警報音停止中でないことを確認してください。
- 警報停止スイッチを約1秒間押すと「**ピッ**」と鳴り、お知らせランプ(緑)が早い点滅を開始します。
- 「**ピッ**」と鳴ったらすぐに手を離してください。
- 全ランプが約1秒間点灯し、「正常です」が1回鳴れば正常です。

※過去約10日以内に警報が作動した場合は、全ランプ点灯後に、最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、1秒間点灯します。(鳴動原因表示機能によるものです)

警報音確認

△警告

- 点検時、決してライターなどの炎を使用しないでください。
警報器の破損や火災の原因になります。
- 点検をするときは、必ず安定した台に乗って行ってください。
転倒してけがをする恐れがあります。

- 警報停止スイッチを約3秒間押すと、「**ピッ**」音の後「**ビッビッ**」と開始音が鳴ります。(お知らせランプ（緑）が早い点滅開始)。
- 警報停止スイッチから手を離すと以下のように作動します。

動作順	音声内容	ランプ		
		お知らせ (緑)	CO 警報 (黄)	ガス警報 (赤)
1	「ワーワービッビッビッピッ」ガスがもれていませんか	早い点滅	消灯	点滅
2	「ワーワービッポビッポツ」空気が汚れて危険です。窓を開けて換気してください	早い点滅	点滅	消灯

- 「**ピー**」と終了音が鳴り、監視状態(お知らせランプ(緑)消灯)に戻ります。
※音声警報中に本機能を終了したい場合は、警報停止スイッチを押すまたは引きひもを引くと、「**ピー**」と鳴り、終了します。

故障かな?と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
電源表示に「 点 」が点灯していない。	電池コネクタが差し込まれているか確認してください。	電池コネクタを押し込んでください。 電源表示「 点 」が点灯しない場合、販売店に連絡してください。
お知らせランプ(緑)が点滅している。	10秒ごとに3回点滅 警報器の故障を知らせています。	販売店に連絡してください。
	10秒ごとに1回点滅 警報器の電池切れを知らせています。	販売店に連絡してください。
	10秒ごとに2回点滅 警報器の有効期限切れを知らせています。警報器の有効期限ラベルに記載の有効期限が切れていませんか。	有効期限が切れていれば、販売店に連絡してください。

ガスもれ、COの発生ではないのに、赤ランプや黄ランプが点滅したり、警報音が鳴る。

- 原因を調べてください。(P.6・7参照)
- ガス機器の異常が考えられます。
- ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。

警報停止スイッチを押したときに、赤ランプや黄ランプが長く点灯する。

アフターサービスについて

- この警報器は、5年間の無償保証付です。この取扱説明書に書かれている内容を守っていただいた上で警報器が正しく作動しないことが判明した場合には無償でお取り替えいたします。ただし、保証書裏面「5」の項目に該当する場合は、この限りではありません。保証書をご参照ください。
- この警報器の有効期限は、ご使用開始後5年間です。有効期限とは警報器の性能が保証できる期間であり、5年を経過したものは、指定のガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器とお取り替えください。
- 「リース契約書」もしくは「警報器登録票」(販売店（リース取扱店）名の記入のないものは保証内容が無効となる場合がありますので、お取り付け時にご確認ください。
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店（リース取扱店）または、最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。
- 警報器の有効期限を過ぎたときは、販売店（リース取扱店）または、最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。
- 作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。
- 引越しいやお部屋の模様替えなどで警報器を移動される場合は、販売店（リース取扱店）または、最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。

登録

この警報器は、コンピューターに登録して管理させていただきます。登録は、取り付け時もしくは開栓時に行い、登録済みの警報器の有効期限ラベルには有効期限が記入されていますので、ご確認ください。また、有効期限の記入がないラベルは未登録場合がありますので、販売店（リース取扱店）または、最寄りの大阪ガスまでご確認ください。(保証書と有効期限ラベルの期日が異なる場合は、有効期限ラベルの期日が、この警報器の有効期限です。)有効期限の約1ヶ月前に、登録されているものについては、当社よりお知らせします。有効期限を過ぎた場合は、新しいものとお取り替えください。

廃棄について

△警告

取り出した専用リチウム電池のコネクタは、ショートしないようにテープなどを巻いてください。
リチウム電池の廃棄方法を誤ると、ショートして発熱・破裂・発火することがあります。また、ケガをしたり、火災の原因になります。

《リース契約の警報器の廃棄》

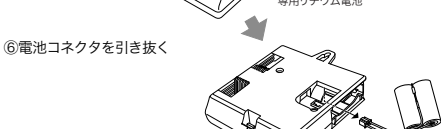
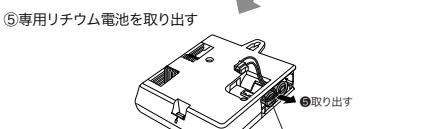
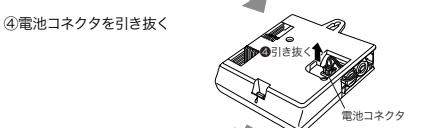
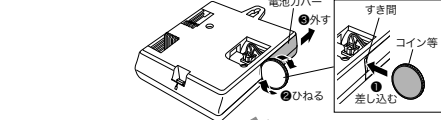
有効期限が過ぎた警報器は、販売店（リース取扱店）にて回収いたします。

《お買い上げいただいた警報器の廃棄》

お住まいの市町村の廃棄物の処理方法にしたがってください。
※必ず専用リチウム電池を取り出して廃棄してください。
(分別方法については下記参照。)

《警報器と専用リチウム電池の分別のしかた》

- コイン等を、警報器側面の電池カバーとのすき間に差し込む
- コイン等をすき間に当てながらひねる
- 電池カバーを外す



仕様

項 目	仕 様
対 象 ガス	都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス用) 燃焼除去ガス中のCO
警 報 方 式	70dB(A)/m以上
検 知 方 式	半導体式
都市ガス	ガス注意報 作動条件 ガス警報濃度以下の都市ガスに対し注意報
	表示・発報方式 ガス警報ランプ(赤)ゆっくり点滅(5秒ごとに1回点滅) 発報音なし
	ガス報 作動条件 *爆発下限界濃度の1/4の都市ガスに対し60秒以内に警報
	表示・発報方式 ガス警報ランプ(赤)点滅(1秒ごとに1回点滅) 音声合成警報音
燃焼除去ガス中のCO	検 知 方 式 電気化学式
	CO注意報 作動条件 300ppmのCOに対し 5分以内に注意報
	表示・発報方式 CO警報ランプ(黄)ゆっくり点滅(5秒ごとに1回点滅) 発報音無し
	CO警報 作動条件 550ppmのCOに対し 5分以内に警報 300ppmのCOに対し 10分以内に警報
CO警報	表示・発報方式 CO警報ランプ(黄)点滅(1秒ごとに1回点滅) またはゆっくり点滅(5秒ごとに1回点滅) 音声合成警報音
	一般財団法人 日本ガス機器検査協会(JIA) 都市ガス用電池式ガス警報器検査規程 認証合格品
電 源	DC3V(専用リチウム電池)
共通仕様	通電初期警報防止タイマー付・故障診断機能、有効期限お知らせ機能
使用温度範囲	0℃～+50℃ (結露しないこと)
寸 法 ・ 質 量	幅85×高さ100×奥行25mm(突起部を除く)、約140g
付 属 品	木ねじ(φ3.1x16mm)×1本、取扱説明書(保証書付)(本書)×1枚、リースシール×1枚

※ 爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を爆発限界といつて、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といいます。

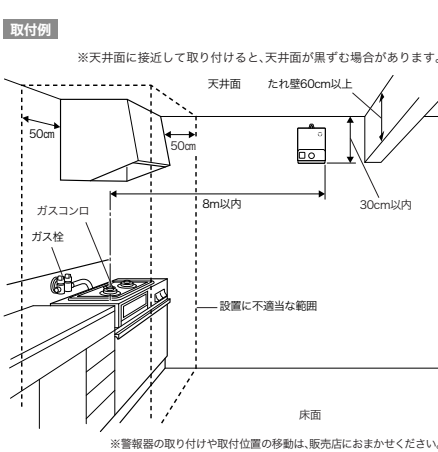
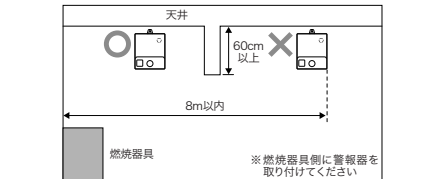
取付位置の確認

△注意

正しい取付位置に取り付けられていることを確認してください。
取り付けてはいけない場所に取り付けられていると、警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。

《正しい取付場所について》

- ガス、COを検知しようとするガス機器を設置している場所と、同一の室内に取り付けてください。
- ガスやCOが滞留しやすい位置で、電源表示「**点**」の確認しやすい位置、点検が容易にできる場所へ取り付けてください。
- ガス、COを検知しようとするガス機器（一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合はガス栓）から、水平距離で8m以内、警報器の底面から天井面までの距離が30cm以内の位置に取り付けてください。
- 天井面が60cm以上の突出したたれ壁などによって区画される場合は、たれ壁より燃焼器具側に取り付けてください。



《取り付けてはいけない場所について》
以下の場所には、絶対に警報器を取り付けしないでください。

- レンジフード内やレンジフード本体への取り付け。
アルコール等で警報することがあります。
- 換気扇、給気口、ドア付近など風通しの良い場所。
- すき間風の入る場所。
- 30cm以上（警報器含）のたれ壁などの下。
- 警報が遅れたり、検知できないことがあります。
- 振動、衝撃の激しい場所。
センサの故障の原因になります。
- 浴室内、水のかかる場所、水滴がつく場所。
感電や電氣的故障の原因になります。
- 温度が0℃～+50℃の範囲をこえる場所。
警報器としての機能を果たしません。また、誤作動の原因になります。

- たれ壁60cm以上で区切られている場所。
- エアコンなどの吹出口に近い場所。
警報が遅れたり、検知できないことがあります。
- 燃焼器具などの排気、湯気、油煙および調理用アルコールの蒸気が直接かかる場所。
センサ寿命が短くなったり、誤報の原因になります。
- ガス検知口に他の機器などを密着させないでください。
警報が遅れることがあります。

- カーテンウォールなどで仕切られた場所。
警報が遅れます。
- 業務用・工業用。
家庭用です。業務用・工業用ではあられません。
- 屋外。
屋外では使用できません。

- ガス機器をご使用のときは、換気にご注意ください。
- お使いになった後は、器具栓だけではなくガス栓も必ず閉めてください。
- ゴム管は、良質の大阪ガス製♡マーク入りのものをお使いください。そして、ガス栓についている赤線のところまで深くさし込み、必ずゴム管止めでとめてください。
- お使いにならないガス栓にはゴムキャップをはめてください。
- 古くなったゴム管はお取り替えください。

大阪導管部 550-0023 大阪市西区千代崎3丁目南2-37 0120 (0)19424

南部導管部 590-0973 堺市堺区住吉橋町2-2-19 0120 (3)19424

北東部導管部 578-8502 東大阪市橋梁2-3-17 0120 (5)19424

兵庫導管部 650-0046 神戸市中央区港島中島4-5-3 0120 (7)19424

京滋導管部 600-8815 京都市下京区中堂寺堂田93 0120 (8)19424

インターネットでのお問い合わせやお手続き

大阪ガス 検索 http://www.osakagas.co.jp/

お電話・FAXでのお問い合わせとお手続き

■大阪事務所 550-0023 大阪市西区千代崎3丁目南2-37 0120 (0)94817

■南部事務所 590-0973 堺市堺区住吉橋町2-2-19 0120 (3)94817

■北部事務所 569-8569 高槻市藤の里町39-6 0120 (5)94817

■兵庫事務所 650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目8-2 0120 (7)94817

■京都事務所 600-8815 京都市下京区中堂寺堂田93 0120 (8)94817

□FAXによるお問い合わせ 550-0023 大阪市西区千代崎3丁目南2-37 FAX 0120 (6)94817

※受付時間は、月曜～土曜9:00～19:00、日祝日9:00～17:00となっております。

※お電話のおかけ間違いのないようお願いいたします。

※所在地・電話番号などは変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。

大阪ガス株式会社